

●竹蛇籠の製作講習会 10月7・8日(日・月祝)9時～15時開催

講師…株式会社原小組さん5名 いよいよ目前に迫ってきました。この7日と8日(日・月祝)に蛇籠製作講習会を開催します。講師指導に原小組さん5人を静岡県からお招きいたしました。原小組さんは大井川の上流域で伝統工法を継承しながら護岸工事を実施されている全国でも類を見ない技術を継承されている集団です。ウィークデーでは通常の作業を行いながら、この二日間は、泊りがけで蛇籠製作の技術を伝えたいと5名の従業員さんが社長と一緒にお願いすることになっています。今回は竹蛇籠の製作に特化して十分に時間を取っていただいて、ご指導をお願いしています。初心者の方皆さんも、また少しは経験されている皆さんも、基本からしっかり教えていただき、技術力を身に付けていただきますよう期待をしております。次の機会にはリーダーとしての役割を担っていただければと思っています。この二日間はノルマではありませんので、気軽に習っていただければと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加料は無料です。気軽にお越しください。お昼をまたぐこととなりますので、弁当をご持参ください。手袋、水筒、しっかりした靴、服装は長袖の上着、長ズボンでお越しください。もし準備ができるようでしたら、ヘルメットもご持参いただけると助かります。

●蛇籠付近での秋の生き物調べ 10月6日(土)10時～12時は中止・次週に延期 10月13日(土)に開催

台風24号の影響がまだまだ残っています。木津川の水位は50cm以上高くこの水位がしばらく継続するようです。そして25号も間もなく本土の近くを通過するとの予報があつて、秋雨前線への影響もあるようで、木曜日以降降雨が予想されています。こうした状況を考えると10月6日(土)に予定している蛇籠付近の生き物調べは、かなり厳しい状況です。蛇籠付近に近づくことが危険で、やむなく中止が正解だと思われます。ご指導いただく竹門先生とも打ち合わせをして、危険回避のため、中止・延期とさせていただきます。次回開催を10月13日(土)10時集合で行います。集合場所は井手町玉水大橋右岸の広場にご集合ください。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

●中聖牛への河川敷通路完成

9月30日 木津川出張所に中聖牛の設置以来、この場所(数回の草刈で通路確保)への通路をお願いしてきました。それが9月30日月末に完成したのです。これで蛇籠を設置して以来3年目にして、ようやく中聖牛と共に見学が可能になった画期的な成果です。玉水橋から歩き始めると約1キロも砂の上を、とても歩きにくいところからの解放がされたのです。私たち里山の会はこの通路の完成に心から歓迎をしています。ところが、この度の台風24号が本土を縦断したのです。高山ダムは大量の貯水を流したので、低水敷への浸水が始まり、完成したところの通路が流されてしまいました。八幡市の有名な「流れ橋」にもう少しというところまで水位が上がったのです。しかし流失は免れたのですが、中聖牛は水没するくらいの水位だったのです。

待ち望んできた通路が完成した翌日に、一部(約100m)が流失してしまったのです。この通路が出来たので、12月に設置を予定している中聖牛の3基の増設の7mの木材や玉石40t、竹蛇籠27本の運搬作業に役立つと見込んでいたのですが、厳しい状況になりました。何とか修復していただければと思うものです。

●蛇籠の底辺部固定針金の形状を工夫

今回中聖牛の設置を行うことになり、資材準備作業で、最もつらいのが、放棄された竹藪の中から適正な太さの竹の選定と切り出し作業です。そして適正な長さに切り落とし、切り落とした余分な竹の処分作業です。続いて用意された竹の節落とし作業とひび入れ作業です。これまでの蛇籠づくりでは全て手作業だったのです。今回から竹割作業は高橋式竹割機の製作を依頼して、動力機を導入して、随分と省力化が進みました。そして蛇籠の底辺部の編み初め作業となります。長くて扱い難く、6本の竹を組み合すことは、簡単なようで、なかなか組上げられない作業なのです。ここで六つ目編みの最初の部分で個々の出来具合が全体に大きな影響が及ぶ最も難しく大切な作業なのです。組上げた長い竹が解けないようにビニールひもで固定化をしたのですが、ここが動いて支障が出てしまいます。ひもを針金に変えたのですが、丈夫なものを使用す

るとペンチでかなりの力が必要なのと、かなりのコツが必要で、うまく固定化するには時間がかかります。組み合わせるのに時間がかかります。そして続く針金による固定化にも時間がかかり、本番の編み始める前に相当疲れてしまいます。そこで固定化するための針金に改良を加えると、それが効果をあげて、いとも簡単になりました。道具を考え出すこと、そしてさらに改良改善、工夫を加えることが必要だということを学びました。

●秋の各種展示会には蛇籠のセット（三本一組）展示の体制が整いつつあります

10月27日(土)中書島の京都大学防災研究ラバトリーで行われる今日の川の恵みを活かす会のフォーラム、翌日の城陽市木津川公園での緑化フェスタセットで、太さ34cm長さ4mの蛇籠3本セットの本物の展示が実現します。そして11月9・10日の国交省近畿地方整備局主催のふれあい土木展での展示も確定しました。12月8・9日の京都府環境フェスタでは昨年同様の3ブースの確保が約束されましたので、展示が行えると思います。できれば11月3・4日の京田辺市民文化祭でも本物を展示したいと考えています。

●里山農園から作業計画書を提出

白土山へのガイドロープの杭の加工ができ次第設置し、10日には完成予定です。また念願の仮設トイレの譲渡(一休み農園)を頂くことになって、4日の午後に農園に移動を計画しています。13日までに農園18号19号の除草を予定しています。秋のこの雑草刈時期なので、お手伝いにお越しいただければ大変ありがたいです。連絡は大村副理事長または森島理事にお問い合わせください。

●10月の予定

1. 4日 トイレ受取
2. 6日竹蛇籠付近の生き物調べ(増水で中止・延期)
3. 7日竹蛇籠製作講習会(原小組指導)
4. 8日竹蛇籠製作講習会(原小組指導)
5. 13日竹蛇籠付近の生き物調べ
6. 16日河川レンジャー運営会議 大釜智光・山村新レンジャー任命
7. 27日中書島京都大学防災ラバトリー「京の川の恵みを活かす会・フォーラム」(活動紹介)
8. 28日木津川公園城陽市緑化フェスタ(綿菓子・竹蛇籠・展示)
9. 里山農園(毎週火・土)9時30分から作業実施)
10. パソコン教室(毎週木)10時から開催
11. 事務局会議(毎週水)9時30分 の定例開催が行われています。それぞれどなたでも出席ください。
12. 竹蛇籠製作実施 27本の完成まで 水木を除き実施中 ご参加ください